

前立腺肥大症に対する新たな低侵襲手術 UroLift（経尿道的前立腺吊り上げ術）

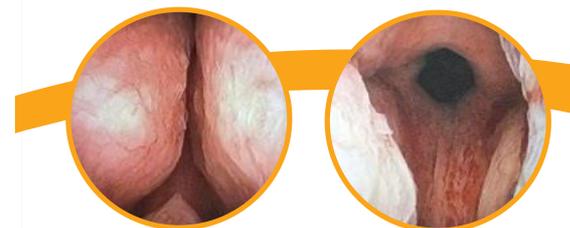
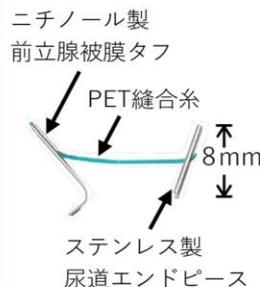
肥大した前立腺組織を持ち上げ、尿道を拡げるよう固定する前立腺肥大症の新たな医療保険適応の治療法です。前立腺組織の切除、加熱、変性を伴わない唯一の治療法です。手術時間は30分以内と短く、体への負担が少ないのが特徴です。

UroLiftシステムによる治療は米国泌尿器科学会と欧州泌尿器科学会のガイドラインにて前立腺肥大症の治療として推奨。世界で30万人以上が治療を受けています。（2022年4月）



前立腺の閉塞部位まで内視鏡を挿入し、インプラントを埋め込みます
一般的に4～6個留置します

インプラント



医師が観察した前立腺閉塞

PULによる治療後に閉塞が解消した前立腺

適応：全身状態や手術侵襲を考慮して、従来の手術療法（TUR-P・TUEB・HOLEPなど）が施行困難な患者
【高齢（75歳以上）・身体機能低下や合併症リスクが高い・認知機能障害・抗血栓薬内服など】

麻酔方法：局所麻酔あるいは脊髄麻酔、症例により全身麻酔

手術時間：30分

尿道カテーテル留置：基本的に術後カテーテル留置は不要。術後カテーテル留置32%、留置期間は0.9日

合併症：血尿・排尿時痛・排尿困難・尿意切迫感など2-4週以内に消失 射精障害・勃起障害は稀